



TOYOHASHI ARTS THEATRE  
PLAT

公益財団法人  
豊橋文化振興財団情報誌  
2020年5月-6月

vol. 43



TOYOHASHI  
ARTS  
THEATRE  
PLAT

CONTENTS

表紙: 未練の幽霊と怪物  
片桐はいろ

2

INTERVIEW:1

大道芸 in とよはし  
大道芸は、最先端に在る現代劇  
橋本隆雄

6

INTERVIEW:2

未練の幽霊と怪物  
能という構造を借りた音楽劇です。  
岡田利規

8

INTERVIEW:3

イキウメ  
外の道  
意識と無意識との  
延長線上に見えるものを

前川知大

確信が目の前にある感じです  
池谷のぶえ

10

INTERVIEW:4

古典遊学  
文楽学び塾  
人形、義太夫、三味線が  
合わさる楽しさを味わって下さい。

吉田勤彌

文楽はミュージカルや  
オペラのような音楽劇です。  
桐竹勤十郎

12

INFORMATION

PLAT 主催公演情報

14

PURA PURA

バロックの寄り道ぶらぶら  
「語り合える友がいたら」

15

SUPPORT

TICKET CENTER

裏表紙: 大道芸 in とよはし  
PLAT CALENDAR

5  
May

- 2 [土] プラット2020年度 プログラム説明会◎PLATアートスペース
- 12 [火] プラットワンコインコンサート2020  
Lis『フランスの風に乗せて』◎PLATアートスペース
- 13 [水]—15 [金] 豊橋演劇鑑賞会 第278回例会  
トム・プロジェクト『Sing a Song』◎PLAT主ホール
- 13 [水] 桂文我 独演会◎PLATアートスペース
- 30 [土] 平原誠之 ピアノ・コンサート◎PLATアートスペース
- 31 [日] 愛知県立豊橋東高等学校吹奏楽部 第29回定期演奏会◎PLAT主ホール

6  
June

- 3 [水]—4 [木] 『ガールズ&ボーイズ』◎PLAT主ホール
- 6 [土] 第3回 ショパン(株)ミュージックアカデミー発表会  
～鈴木智子とその門下生によるコンサート～◎PLATアートスペース
- 7 [日] 笑いの学校 第14回例会 微笑亭さん太独演会◎PLATアートスペース
- 11 [木] 大学・短期大学・専門学校 進学ガイダンス◎PLATアートスペース
- 13 [土]—14 [日] cube presents『欲望のみ』(レビュー公演)◎PLAT主ホール
- 13 [土] とよはし市電を愛する会 創立30周年記念・第19回中部地区路面電車サミット講演会◎PLATアートスペース
- 20 [土] 第6回コロ・フェリーチェ演奏会◎PLAT主ホール
- 20 [土]—21 [日] 近藤芳正 Solo Work『ナイフ』◎PLATアートスペース
- 21 [日] 足太べんたのべんたまつり2020 ～みんなで踊ってみて楽しもう!～◎PLAT主ホール
- 27 [土]—28 [日] 未練の幽霊と怪物—『挫波』『敦賀』—◎PLAT主ホール
- 28 [日] 第38回 アコーディオンコンサート◎PLATアートスペース

PLAT NEWS ALWAYS





# INTERVIEW:1

中島—— 大道芸はPLATが開館する前の2012年から開催しているので、もう今年で9年目になります。スケジュールや会場は例年と同じですか。

橋本—— 豊橋の大道芸はいつも大盛況で、街の人にも定着してきていますね。毎年ゴールデンウィークに開催していますが、時間と場所は例年とほとんど変わりません。

中島—— 今年の芸人さんたちのラインナップを楽しみにしている人も多いと思いますが、大道芸の出演者18組はどのように選んだのですか。

橋本—— 子どもから大人まで楽しめることはもちろん、今年は二人以上の組の芸人を増やしました。芸をやるときは、必ずお客さんを見るということと、そして目の前のお客さんに演技をするという気持ちが大事です。

芸人が一人だと目が2つだけど、二人いれば目は4つで、四人いれば目が8個もある。それぞれの目が必ずお客さんを見るので、芸人の人数が増えたと、その分劇的で、よりお客さんを自分の発する景色と雰囲気で包むことができます。

たとえどんなに素晴らしい技術で最高の芸をしても、自分の世界にこもっていて壁がある態度では観客は近寄れない。だが、観客の心をしっかりと掴んで、そこに親しい風が吹くと、終わったらウワーッといける。加納真美や芸人まことは一人で演技をする芸人ですが、そういった意味ではナンバーワン。同じ技をやってもお客さんに好かれるか嫌われるかは、ハッキリと別れます。きつちりと心を込めて人のために演技をすることで、いい芸人はファンを増やします。加納とまことは日本中からファンを引き連れてくるので、この二人でこの辺のホテルが100室は埋まるんじゃないでしょうか。

愛知県には、今でも三河万歳がありますね。これは新春に言祝ぎの祝い事を二人で掛け合いをして、投げ銭をもらう、いわゆる門付け芸です。

中島—— 「ああ、おめでたいや。おめでたいや」と同じ言葉を繰り返す典型的な笑いの原点ですね。

橋本—— 三河万歳では投げ銭をいただくために、冗談を言い、笑わせ、正月に「めでたい、めでたい」とやる。その祝いの言葉を外して、大正時代から芸能化して漫才というものができ、元々の三河万歳とは別の芸能になりました。

同じように、大道芸だった出し物が、劇場や寄席など小屋の中でやるようになったものもたくさんあります。

中島—— 太神楽と呼ばれるような、傘回しの曲芸もそのひとつですね。

橋本—— 義太夫とか浄瑠璃もそう。浪曲も説教節という大道芸から出た芸能です。それらがステージに上がり、ラジオやテレビで広まり大衆化していきました。

しかし、大衆化するにつれて、元々の大道芸と比べ

とよはしアートフェスティバル 2020

## 大道芸 in とよはし

新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期させて頂きます

開催日程が決定次第、HPなどでお知らせします

聞き手 中島晴美 穂の国とよはし芸術劇場ロマン シニアプロデューサー

### 大道芸は、最先端にいる現代劇 橋本隆雄

プロデューサー

とよはしアートフェスティバル 2020

と一人一人のお客に対する思いやりや、つながりが希薄になってしまう。外でやった以上は、劇場でやっている芝居をやっても大道芸になりますが、大衆化する前の、昔ながらの優しい芸人の心を忘れないことが大事ですね。特定の観客ではなく、来た人全員がいい時間を持てるように、その人と特別な関係をつくって目の前の人のために芸をやるということです。

として、そのためには言葉も雰囲気もその場に合わせて現代の最先端のものを選ばなければならない。もし歌舞伎のような古典のパフォーマンスをすることも、江戸時代のセリフを江戸時代の言葉で言っただけで通用しない。それを大道芸でやるなら言葉も今の言葉、形式も今のものでも表現していく。大道芸は、常に最先端にいる現代劇、コンテンポラリーなパフォーマンスです。20年30年前のセンスでやったらもう目の前の人には通用しない。

中島—— 立ち去ってもいい人たちを引き留めて、満足させなければいけないのですからね。

橋本—— そこが一番大事なんだよね。僕は東京芸術劇場で、もう6年も大道芸の歴史の講義をしてきたんだけど、大道芸は普通の現代劇だということに最近気がつきました。最先端の表現をやらないと現代の人は賛成してくれないし見てくれない。面白がらなきゃ、金はくれない。だから今の人が納得する面白さを出さなきゃということですね。

中島—— 大道芸は、テレビにも映画にも勝つ、舞台にも勝つ、すべてに勝つのですね。

橋本—— そうです。実際に勝っていると思いますよ。だって、お客さんで目いっぱいになるんだから。劇場の中にお客さんを入れたら、きっと半分くらいは埋まります。そのぐらい大道芸というのはその瞬間の一度きりで芸の魅力が披露している。

大道芸の歴史を振り返ると、鎌倉時代の末期ぐらいから江戸時代いっぱいのだいたい1000年間、大道芸人は定住してなかったのです。芸を披露して芸人に優しくしてくれる町を旦那場<sup>だんなば</sup>と云ったが、それを目指してうろうろ旅をしながら大道芸は生き続けてきた。そういう意味で、豊橋はきつちり旦那場になっていますね。

以前も観に来たことがある人は、芸人との再会を喜んだり、「これは珍しい」と思いがけないパフォーマンスに驚いたり。いろんなことが街中でドラマチックに展開するようになりました。今年も最強の超一流の芸人を出しますから、どこの会場に行ってもきつと満足できますよ。どこでも「俺ら最高だ」というものを並べたいと思っています。

ぜひ大道芸人と仲よくしてみてください。大道芸人と仲よく接することで、お客さんが喜べば、街も優しくなります。中島—— 私たちもこれをお膳立てするように頑張ります。どうもありがとうございました。



# 「大道芸 in とよはし」

**3 芸人まこと**  
THE大道芸  
お客さんのテンションを自由自在に操り、芸もトークも、やることがなすと常識無用!本人以外、いや本人でさえも、なにが起るかわからない!でも、だからこそ、面白い!毎回状況が異なる屋外で、いつも何が面白いかを考え続ける。ライブに生きた、生粋のストリートエンターテイナー!!

**2 加納真実**  
マイムコメディ  
加納!加納!加納!の時間!!有無を言わせないギリギリの狂言...!大ヒットした歌謡曲の気...!奇妙な青いジャージ姿の女が、ストーリーまがいに追っせて、これは芸なのか?いや、アート?それとも...。けれど、冷静と情熱の間の隙間。一度見たらもう最後。

**1 FUNNY BONES**  
パペット・コメディ  
From イングランド & 日本  
世界を旅する芸人クリスとけいぼー。2人がカバンを開くと、おもちや箱のように楽しさがあふれだす!特に巨大なゾンビのバベット [TOKYOゾンビーズ] は必見!間違いない会場は驚きとカオスに包まれます!!ちよつり愉しく、めっちゃくちゃ楽しい、世界の人々が愛するコメディ&パペットパフォーマンス!



**4 松鶴家天太**  
[シヨカヤテンタ]  
コメディ  
演劇やストリートダンス、アクトパットなど、様々な表現をベースに独自のパフォーマンススタイルを目指すエンターテイナー! バルーンにジャグリング、パランス芸にマジックまで、様々なジャンルのパフォーマンスを披露します!まさに大人からお子様まで楽しめるジャグリング・マジック SHOW!

**5 ゼロコ**  
パントマイム  
息抜き?気分転換?そんな時には、さあお茶しよう!せわしない日常の中で、ほっと一息、リズムを変えて、たまにはパフォーマンスを見るなんていかがでしょう?笑いあり、驚きあり、じんわり、しみじみ、ほのほのしるやう。ポットの紅茶を飲み終わるまでの魔法の時間!最後までゆっくりお楽しみください!

**9 中国雑技芸術団**  
From 中国  
中国雑技・アクトパット、パランス・歌体・アクリル・ダンス・技の数々。観る者の想像を軽く凌駕する驚きの連続に、息を呑むのも忘れてしまうほど!はたして今年ほどはどんな技が繰り出されるのか?それは見てのお楽しみです!!

**15 STILTANGO**  
[スティルトンゴ]  
足長ウォーキングアクト  
街中を優雅に練り歩き、踊りたしたその場所全てが、舞踏会ダンスフロアに移り変わる!男と女。交錯する影と情熱的なステップ!映画のワンシーンみたいに見える光景!いつもの街が、まるで遠いヨーロッパの街角に!!



**14 Kanauknot**  
[カナウノット]  
アクトパット  
日本屈指のマルチサカスアクト「いはらつとム」と、元体操競技日本一のアクトパットダンサー「花火」。驚異の身体能力を誇る2人によるドラマチックなサーカスならではの華麗な、青空の下、屋外で繰り広げます!



**18 HARO**  
[ハロ]  
足長ウォーキングアクト  
長い衣が風をはらみ、風を感じ、風を見せる。大きく、雄大に、そして華やかに羽ばたいたとき、空気は混ざり、光は反射し、強く印象を心に残す。存在する空間に、これは精霊の世界の住人なのか?!

**17 竹内直 & Wagan Brothers**  
[タケウチナオアンドワガンブラザーズ]  
Jazz & アフリカンパーカッション  
From セネガル & 日本  
SAX奏者 竹内直を中心に、Wagan Brothersを加えた、この豊橋のみで実現しているお馴染み超スペシャルユニット!超一流ミュージシャン達が奏でる一流ミュージック!リズム&体の芯に直接訴えかけてくる強烈なサウンドは、絶対に聞き逃さず欲しい!突き動かさる欲望にまかせて、さあ踊ろう!!



**8 オジロス**  
フラメンコ  
強烈なパッションが絡み合うギターとステップ!屋外にスペインの風を巻き起こす最高のフラメンコ集団!美しく情熱的な踊りと、かき鳴らされるギター。人生の喜怒哀楽を物語る情緒的で官能的な旋律!スペイン・アンダルシアにルーツを持つフラメンコ。飛び散る汗と迫力は、強く、強く、心と魂に響き渡ります!



**16 アストロノーツ**  
スタチュー  
えっ!浮いてるの?全身銀色!日本唯一の浮遊型スタチュー!重力を超越し電子機器を駆使した、宇宙飛行士の未来型人間像。え、無重力?一瞬、目を疑う驚きの光景!ロケット燃料をいれれば、あなたの前でも飛べます!ロケット燃料をいれれば、あなたの前でも飛べます!

**12 ココナツ山本**  
コメディ  
うさん臭さ溢れるジャケッとお客さん、見るからに怪しい!でも嫌いな、アグシかな、しろ好きだ!そう、この面白い、吸い寄せられて離れられない、ココナツ。観客の吸引力が変わらない、ただひとつの大道芸人!



**11 フレディーノ**  
コメディ  
街中に突然オープンする不思議なレストラン!なんと店主はフレディー・マキューリ??!はたして今日は、どんなメニューでOPENするの?オシャレでシニカル、でも笑わずにはいられない!何か起るかわからない!ハラハラドキドキの30分をお楽しみください!

**6 ブラックエレファント**  
Jazz  
サウンド爆弾!フェスティバルミュージック大爆発! トロンボーン&トランペットを中心とした熱い演奏!実力は折り紙つき!トロンボーンの高らかな爆発音、トロンボーンボディに低く響く音は、激アツ間違いなし!ロックとともにも優しい!みんなで一緒に盛り上がりましょう!!



**10 空軌道**  
ジャグリング  
ジャグリングの新たな境地を開拓する、ハイスピークなジャグリングアートユニット!世界で唯一のハンドベルとジャグリングを融合したパフォーマンスの音色と共に心に響く感動を産み出します!コンテンポラリーなスタイル、更なる可能性を追求してください!



# 未練の幽霊と怪物

ザハ・ハデイド『挫波』『敦賀』

2020年の日本を射抜く、岡田利規版「夢幻能」

6月27日[土]13:00開演・28日[日]13:00開演

作・演出＝岡田利規

音楽監督・演奏＝内橋和久

出演＝森山未來、片桐はいり、栗原類、石橋静河、太田信吾／七尾旅人(謡手)

会場＝PLAT主ホール

矢作——今回どのようなところから、夢幻能のスタイルの新作を立ち上げようと思われたのでしょうか。

岡田——以前から能の形式はよくできていると思っていました。思いの叶わないまま死んだ魂たちが成就できずにまだこの世で幽霊の形でくすぶっている、そういう存在が多くいる能においては主人公で、その人たちがそうなった大体の理由は政治的だったり社会的だったりする。ということは、その形式を使えば、社会的な作品になるわけです。しかも幽霊は僕からすると演劇と相性のいいものなので、能は非常によくできていると。そのフォーマットにうまく当てはまるような題材はたくさんあると思う。つまり、そういうふうにくすぶっている幽霊たちを絶えず生み出している世の中であるってことなのです。

矢作——これまでも岡田さんは死者と生者が登場する作品を作ってこられました。それは夢幻能とどのようにリンクしているのでしょうか。

岡田——あるとき「役者と幽霊って似ているな」「どっちも人に見られることなしには存在しない」ということを思いました。それが幽霊と役者、幽霊と演劇について僕が考え始めたきっかけでした。その後、日本文学全集(河出書房新社)で「能の現代語訳をやってみないか」と声をかけてもらいました。その時にたくさん能のテキストを読んで、それはすごく大きな財産でした。そのことをミュンヘンで話したら「じゃあここで能を作ってみたらどうだ」と言われて、『NŌ THEATER』を作りました。少しずつ興味が出てきて、能の理解や知識が少しずつ僕の中で深まり、能の構造とか音楽劇であることにまで関心が広がりました。

矢作——今回、「挫波」と「敦賀」の2つを取り上げようと思ったのはどのようなところからでしょうか。

岡田——ザハ・ハデイドが亡くなったというニュースを聞いたときに、「彼女は幽霊になって出てきたっておかしくない」と思った。彼女をシテにした能を、2020年に上演することにも格別な意義がありますよね。もんじゅもそうです。将来を囑望され、巨額の投資をされ、で、結局何もやらなかった。これまたいへんな悲劇だと思うんで

す。その2つの演目を組み合わせることも、悪くないアイデアだと思いました。あと、能って話の種類で5つのジャンルに分かれるんですけど、そのうち僕は特に修羅物に興味があるんです。修羅物というのは武将が主人公の話ですけれども、僕のなかでは「挫波」は一種の修羅物として考えようかなと思ってます。それで言うと「敦賀」は切能ですね。『土蜘蛛』とか『鶴』とか、お化けが主人公のやつです。

矢作——森山未來さんとは以前もご一緒されていますね。

岡田——森山さんとは一度直島のプロジェクトでコラボレーションしています。そのとき、話し合いながら一緒に作るのが、楽しかったんです。僕は、メンバーとディスカッションしてアイデアを出しあって上演を作って質を上げていくというタイプの演出を最近はずしてはいるんですね。だから、そういうことができる役者とでないとうまいかなんですけど、森山さんとはすごくそれができたし、そういうのが好きな人なんですよ。だから、うまくいきました。

矢作——森山さんはダンサーや俳優、その境界を軽々と乗り越えて色々なことをされています。その身体性や発想が考えの一つとしてあったのですか。

岡田——なんせ歌があって舞いがありますから、その意味でも頼りにしています。今回、ミュンヘンのプロダクションで試したフォーマットの言わば第二弾なわけですが、せっかくだから第一弾よりも先に行きたい。たとえば、能のクライマックスは舞いによって成立する。その時間を充実させた上演にしていきたいと思っています。

矢作——音楽を内橋和久さんをお願いされた経緯は。

岡田——内橋さんが演奏する楽器のひとつにダクソフォンというのがあるんですけど、以前から内橋さんはダクソフォンで能をやりたいって思ってたそうなんです。それを知ったのもあって、『NŌ THEATER』の時に、音楽を依頼しました。それが初めて一緒にやったプロダクションです。僕は音楽の専門家じゃないけれど、リハーサルのプロセスをともにしていくなかで、内橋さんが演技と絡むように演奏をしていくその仕方がとんとん

幽霊や怪物のことを見ないこと忘れてしまうこと  
直視しないこと忘却すること、抗うために

能という構造を借りた音楽劇です。

作・演出

岡田利規

聞き手 矢作勝義 穂の国とよはし芸術劇場PLAT 芸術文化プロデューサー



岡田利規[おかだ・としき]／1973年横浜生まれ、熊本在住。演劇作家／小説家／チェルフィッチュ主宰。活動は従来の演劇の概念を覆すとみなされ国内外で注目される。2005年『三月の5日間』で第49回岸田國士戯曲賞を受賞。2007年デビュー小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』(新潮社)発表、翌年第二回大江健三郎賞受賞。12年より岸田國士戯曲賞の審査員を務める。13年 演劇論集『廻行 変形していくための演劇論』、14年戯曲集『現在地』(河出書房)刊行。16年よりドイツ有数の公立劇場ミュンヘン・カンマーシュピールのレパートリー作品演出を4シーズンにあたって務め、20年『The Vacuum Cleaner』が、ドイツの演劇祭Theatertreffenの“注目すべき10作品”に選出。18年にはタイの小説家、ウチット・ヘー・マムーンの原作を舞台化した『ブラータナー: 憑依のポートレート』をバンコクにて発表。同作は20年第27回読売演劇大賞 選考委員特別賞を受賞。

おもしろくなっていくのは、素人でもわかるんですよ。それがすごく面白いんです。

矢作——岡田さんは海外と日本を行き来して作品を作られています。日本、ドイツ、タイ、それぞれの特徴や違いを感じることはありませんか。

岡田——日本は言葉を深いところでやり取りできる。だから、たとえば自分の拠点のカンパニーであるチェルフィッチュは、僕にとって演劇を開発していくラボラトリーです。チェルフィッチュでしかできないことがある。ドイツで仕事するときに面白いのは、僕の作品、僕の演出方法、僕のテキストがドイツの社会なり演劇文化のなかでどう文脈付けられていくかをまのあたりにするときです。演技のこと、テキストのことなど稽古のなかでたくさんディスカッションが起こるのですが、そのプロセスも僕は楽しんでます。

タイの役者たちは、リラックスして舞台上にいるということがとんでもないレベルでできるんですよ。これにはもう驚嘆です。という話をドイツでしたら「ドイツの役者には絶対無理」って言ってましたけど(笑)。でも日本の役者でも難しいかも。あとこれは僕がタイで作った作品の話ですが、非常に性的な作品だったのでキスしたり絡み合ったりたくさんしてもらったんですが、それが自然で、いやらしくなく、見ているこっちを変な気持ちにさせることなくやってくれて、それもすごいなと思ったし、助かりました。

矢作——最後に、豊橋のお客さんに向けてのメッセージをいただければと思います。

岡田——僕は能を日本の伝統とか日本の心とかそういうふうにはあまり思っていない。あれは世阿弥というスーパーマンが作ったもの、と考えてます。能という演劇の形式は本当に面白いのです。美学的に面白いうえに、社会的・政治的な形式です。だから表面を置き換えることで現代的になります。演劇を見ることが、今について考えることと結びつくのは僕にとってはとても面白いことなんです。音楽と役者の身体の緊張関係も楽しめます。そうしたいろいろをぜひ経験しに来てほしいと思います。



記憶で違うように書き換えたりしているところもあると思うんです。何かを経験したときにいちいち引っかかっていると、なかなか生活が困難になりますからね(笑)。生活していくということは、日々何らかの結論を出さなくてはいけない、そのスピードが速いということが今の社会では有能ということになっているけれども、人それぞれのスピードもあるわけで、はたして本当にどうなのか。そういう社会がおかしいところに見えたらいいなと。時間を止めようとする人が現れてもおもしろいなと、そのあたりリサーチしていくと、競技としてではなく実際に生き死にをかけて戦う武闘家の存在が興味深く感じられたり。

のぶえさんがさつき、頭で考えるのではなく勘、身体でやっているとおっしゃったことって、今回の作品のテーマからすると非常に正しいんです。

池谷—— 今思えば、そういうときって、確信が目の前にある感じなんです。自分のちょっと前に確かなものがあった、それにくっついていだけみたいいな感覚。ドアとかゲートのようなものがあった、そこに入るようなイメージというか。

前川—— 達人の域ですよ。池谷—— この感覚、今、初めて言語化しました。前川—— 生活や芝居の中で磨かれていっている感覚なんでしょうね。禅の修行等にも通じるように思います。藤本—— 今回、イキウメ初のPLAT公演ですね。前川—— プロデュース公演で行って、いい劇場だなと思っていたので、劇団で行かれるのがうれしいです。池谷—— すてきな劇場ですよ。お芝居を観に来たのではない方々も集っていて、そういう場所っていいなと思います。

としてのAIが存在するとして、無意識の方には宗教や人間の感情といったものが存在する。その両極の延長線上に見えるものを、SF寄りというよりはもう少し生活実感の方に戻して描きたいと思っています。そうすると、テクノロジーと身体とが軸になっていかなと。テクノロジー、意識偏重の時代の中、置き去りにされてしまった身体というものがあると思っています。

池谷—— 潜在意識と顕在意識ということだったら、私も近年興味があつて、いろいろ読んでいたりして。潜在意識をもっと活用できたらいいみたいな話もありますけれども、そうなったらそうなったで人はどうなっていくんだろうという思いもありますね。

前川—— 人って、何かを経験したとき、なかったことにしたりして、でもそれが後になってやっぱり残っていたり、

池谷のぶえ[いけたに・のぶえ] / '94年劇団「猫ニャー」(後「演劇弁当猫ニャー」)の旗揚げから、'04年解散までのすべての公演に参加。現在はフリー。舞台のみならず、映像作品へも活動の場を広げている。映画「グッドバイ〜嘘からはじまる人生喜劇〜」、TV「LIFE!〜人生に捧げるコント〜」ほか。前川脚本演出作品への出演は、2016年「遠野物語・奇ッ怪其ノ参」、2018年「ゲゲゲの先生へ」に続き三作目となる。

確信が目の前にある感じですよ 池谷のぶえ

出演

取材・文 藤本真由(舞台評論家)

意識と無意識との延長線上に見えるものを 前川知大

作・演出

前川 知大[まえかわ・ともひろ] / 劇作家、演出家。イキウメ、カタルシツを主宰する。活動の拠点とするイキウメは2003年結成。『天の敵』『散歩する侵略者』『獣の柱』『聖地X』『関数ドミノ』『太陽』他、オリジナルのSFやオカルト、ホラー作品の創作と発表、公演活動を続ける。超常的な世界観で、日常生活の裏側にある世界から人間の心理を描く。見立てと、空間・時間を同時に編集するシームレスな演出を特徴とする。

さんにはそういうものを書くイメージがないから、稽古場で生まれたものなのかなと想像したりしていたんですが。前川—— 割と台本に書いてある通りかな。池谷—— 今回、劇団員の皆さんと劇団としてご一緒できるのも非常に楽しみなんです。前川—— 劇団公演だと、安心感と冒険できるという気持ちと両方あって。長年一緒にやっている分、リラックスできる一方、フラットな関係なので意見もどんどん飛んできますし、緊張感もありますね。自分が今考えていることを形にできるという意味で、SF研究会の研究発表の場みたいな感覚もあります(笑)。藤本—— 今回はどんな作品になりそうですか。前川—— ここ何か、人間の意識と無意識とを扱ってきていて。意識の方に、人間の探求心としての行き先

藤本—— お二人はこれまで、プロデュース公演である『遠野物語・奇ッ怪其ノ参』、『ゲゲゲの先生へ』で舞台作りを共にされてきましたが、イキウメの公演に池谷さんが参加されるのは初めてです。前川—— のぶえさんは、何をやってもおもしろくなるところが魅力。しかもそれが、おもしろくしてやろうということではなくて、戯曲の文脈であったり、その場の空気やズレといったものを、僕が思うに、動物的な勘で拾ってきたのおもしろさなんです。よくこんなスキマをさくつと狙ってくるなと思うこともある。池谷—— 論理的に考えるのが得意ではないので、勘だったり匂いだったり空気だったりやっているとありますがありますね。前川さんに演出されていると、私には計り知れないところを見られているような感覚があつて。私の中の、普段、演劇を作る上、演出を受ける上では見られないようなところを、前川さんには見られている感じ。ディスカッションで質問を投げかけると、前川さんから答えが返ってくる、その考えの基本は宇宙なんだと感じるくらい、本当におもしろくて。今回もいろいろお聞きできるのが楽しみです。前川—— 僕もそんなわかっているわけじゃないんです(笑)。でも、物を作るとき、真面目に考えていくと、日常から外れていってしまうというか、感覚がズレていく、そこがおもしろかったりするなと。二回三回は起きないけれども、一回ならば奇跡で起きたりするかもしれない、そんな可能性をギリギリまで突き詰めて考えていくと、壮大な不思議、バカバカしさに行き着いたりして。池谷—— イキウメさんの舞台を観ていると、思ってもいなかったところで爆笑したりする瞬間があつて、でも、前川

7月11日[土]14:00開演  
作・演出=前川知大  
出演=浜田信也、安井順平 / 池谷のぶえ ほか  
会場=PLAT主ホール  
イキウメ  
外の道  
引っかかっている、なにかが





人形浄瑠璃 文楽

[昼の部]「二人三番叟」「撰州合邦辻」

[夜の部]「本朝廿四孝」「釣女」

10月15日[木]昼の部13:30開演、夜の部18:00開演  
会場=PLAT主ホール

中島— まずは、文楽の普及に力を注いでいる勘十郎さんにお話を伺います。

勘十郎— 文楽はミュージカルとかオペラのような音楽劇なので、気軽に楽しんでもらいたらなと思っているんですが、若い人の耳には浄瑠璃の言葉はなかなか入ってこない。それで今、字幕を出すようになってはいるんですが、字幕を出すと言ってることはわかりますが、字幕に目がいつている間、人形は見えてないわけで、それが僕らはつらいですね。どうしたものかなというのが正直なところですよ。

中島— 字幕は見なくても物語はわかりますよね。

勘十郎— 外国では字幕を出してもあまり見ないですね。一語一句わからなくても理解していただけるかなと思っています。というのも、人形はパントマイムなんです。顔も小さいですし、女形なんか目も眉毛も動かない。ということは、全身で喜怒哀楽のお芝居をしているのです。だからこと、言葉がわからなくても、外国へ行っても皆さんに喜んでいただけているんだと思います。日本人がわからないはずはないんです。わかりにくいとか難しいとか、そういう先入観があるからかなとは思いますが、昨日も初めての方がお友達も連れて家族で観にこられました。生まれて初めて文楽を見た娘さんが、えらく喜んだんです。人形の扱い方も見ていただくとみんな「え？」と思うところがいっぱい、魅力があると思います。客席に座り、電気が消えて幕が開くと、もうそこは別の時代なわけです。そこへ僕らがちゃんと連れていけるかどうか勝負ですが、とうすると鎌倉時代や室町時代や、いろんな時代に行くことができます。いろんな意味でおもしろさがギュッと詰まってると思います。人形にしかできない演出もありますので、そういうものを最初に見ていただけたら、あとが続いて来ていただけるのではないかなと思っています。

中島— 豊橋にも吉田文楽というのがあり、中学校で文楽の課外授業を持っているところもあります。

勘十郎— そういうのはいいですね。僕は小学校に教えに行っていますが、小学校でもう終わってしまい、そのあとがないのです。引き続き中学校にもそういうクラブがあれば、また興味の持ち方が違ってきます。

桐竹勘十郎[きりたけ・かんじゅうろう]1953年大阪生まれ。父は二世桐竹勘十郎。68年、14歳の時に吉田襄助に師事して吉田襄太郎を名乗る。2003年、三世桐竹勘十郎を襲名。15年三代目桐竹勘十郎を襲名。16年第57回毎日芸術賞(演劇・邦舞・演劇部門)受賞。

古典遊学

文楽学び塾

～まずは歴史を学ぶことから始めよう!～

8月16日[日]13:00~16:00

講師=吉田勘彌(人形遣い)、  
竹本碩太夫(義太夫)、  
鶴澤清充(三味線)

会場=PLAT創造活動室A

聞き手 中島晴美 種とよはし芸術劇場PLATシニアプロデューサー

人形、義太夫、三味線が合わさる楽しさを味わって下さい。吉田勘彌

人形遣い

中島— 今回の文楽学び塾は、文楽の基礎を歴史から学ぶ講座です。

勘彌— そうですね。今までずっと人形ばかりでしたが、今回は義太夫と三味線の若手の方にも来てもらいます。

中島— 「若手」というと、一人前になるにはかなりの年月がかかるのでしょうか。

勘彌— 人形で言えば足遣いを10年、左をまた10年、15年。2、30年やって、主遣いになって、左遣いと足遣いが使いこなせるという段階にすれば一人前というふうに言ってもいいんじゃないですかね。

義太夫さんについてはちょっとよくわかりませんが、時間がかかることは確かですね。義太夫節の声を作るまでずいぶん時間がかかるみたいです。

中島— 文楽にお客さんを呼ぶには、何が必要なのでしょう。

勘彌— まだ文楽自体を知らない人が多いですから、若い人に興味を持ってもらいたいですね。

中島— 以前やっていただいた、『二人三番叟』と、「五条橋」ですが、人形ならではの牛若丸がびしょと跳ぶのを見たら子どもたちも好きになるでしょうね。

勘彌— 牛若丸も人形だったら空中浮遊でもなんでもできますからね。普段の芝居はやはり高齢の方が多くいますが、夏休み公演の親子劇場に限って言えば、子どもたちもずいぶん多く来ています。

中島— 『撰州合邦辻』は、自分の子どもを殺してまでも、世継ぎを助けるという、あの時代はという女性像が実際にあったのでしょうか。

勘彌— 芝居はファンタジーですからね。忠義という思考は物語の柱ですから、観れば実感できると思いますね。

中島— 「身毒丸」は有名作品ですし、昼夜通し券を購入いただき、昼『撰州合邦辻』・夜『本朝廿四孝』を若い方に是非観て欲しいですね。昼夜の空き時間に、何かスペシャル企画を勘十郎さんをお願いしたいところですよ。

勘彌— その日は文楽に一日浸かるということですね。地方巡業では、人形がお出迎えして写真撮ったりしています。本公演のときも寄付のお願いをするときには人形も一緒に出て、写真撮影に応じるということがあります。

中島— 最後に一言お願いします。

勘彌— 文楽は、人形、太夫、三味線、三つの技が集まって一つの舞台を作り上げていくわけです。その楽しさを味わう講座を夏休み期間中に開催しますので、奮ってご応募くださいませ。

吉田勘彌[よしだ・かんや](人形遣い)1955年生まれ。74年5月国立劇場文楽第2期研修生となる。76年4月二代桐竹勘十郎に入門、桐竹勘弥と名のる。86年11月三代吉田襄助門下となり、吉田姓を名のる。17年4月第36回(平成28年度)国立劇場文楽賞文楽優秀賞。

文楽はミュージカルやオペラのような音楽劇です。桐竹勘十郎

人形遣い





### 託児サービス対象公演

要予約。生後6ヶ月以上。  
お一人様 ¥500。お申込み、お問合せはプラットチケットセンターまで

### マイセレクト4 対象公演



マイセレクト 4 2020

プラット2020年度プログラム説明会



cube presents『欲望のみ』(プレビュー公演)



古田新太 ケラリーノ・サンドロヴィッチ

未練の幽霊と怪物ー『挫波』『敦賀』ー



森山未来

プラット親子わくわくプログラム2020  
鈴木智子『クラシカルクロスオーバーの世界』



鈴木智子

プラット親子わくわくプログラム2020  
『二分間の冒険』



撮影:田中亜紀

井垣壮太&ミカエル・イエニングス  
ピアノコンサート



井垣壮太

### 5/2 [土] 14:00 開演 プラット2020年度プログラム説明会

2020年度、PLATがお贈りする主催・共催のプログラムをご紹介します。  
●会場=PLATアートスペース●料金=入場無料(要整理券)※整理券はプラットチケットセンター窓口にて配布中

### 5/4 [月・祝]・5 [火・祝] とよはしアートフェスティバル2020 大道芸 in とよはし

延期

豊橋に世界で活躍する大道芸人が大集合!いつもの街がまるごと劇場になる2日間!  
●会場=PLAT、豊橋駅南口駅前広場、広小路通り、コロシアベニュー、豊橋公園、こども未来館ここにて●料金=無料

### 【関連イベント】 竹内直 & Wagan Brothers 大駱駝艦スペシャルライブ

世界を走るサックス奏者、竹内直とアフリカンパーカッションのワガンブラザーズ、をして大駱駝艦によるスペシャルライブを開催します。  
●出演=竹内直、Wagan Brothers、大駱駝艦  
●会場=PLAT主ホール  
●料金=入場無料(要整理券)

### 5/11 [月] 18:30 開演 立川志の輔 独演会

延期

●出演=立川志の輔●会場=PLAT主ホール●前売予定枚数終了

### 6/3 [水] 19:00 開演・4 [木] 13:00 開演 ガールズ&ボーイズーGirls&Boysー

6月4日 13:00のみ

●作=デニス・ケリー●翻訳=小田島創志●演出=蓬菜竜太●出演=長澤まさみ●会場=PLAT主ホール●前売予定枚数終了:当日券については5月下旬以降にお問い合わせください。

### 6/13 [土] 13:00 開演 / 18:00 開演・14 [日] 13:00 開演 cube presents『欲望のみ』(プレビュー公演)

KERAの作・演出、座長に古田新太、ほか剛腕な俳優陣 6月14日 13:00のみ  
が顔を揃え、強烈な「ブラックコメディ」をお届けします。  
KERA曰く、「昨今のひどい世の中には真っ黒な喜劇で一石、いや、七、八石投じたい。」とのこと。  
●会員先行=4月11日(土)●一般発売=4月25日(土)●作・演出=ケラリーノ・サンドロヴィッチ●出演=古田新太、小池栄子、秋山菜津子、大倉孝二、大東駿介、山西惇ほか●会場=PLAT主ホール●料金=[全席指定]S席8,000円、A席7,000円、B席5,000円ほか※発売日初日は、お一人様一申込につき一公演4枚までの枚数制限あり。【特別協賛:サーラグループ】

### 6/20 [土] 14:30 開演・21 [日] 14:30 開演 PLAT小劇場シリーズ 近藤芳正 Solo Work『ナイフ』

好評発売中

全ての登場人物を演じ分ける俳優の近藤芳正のソロプロジェクト。息遣いや姿勢や筋肉の動かし方で性別や年齢も演じ分け、新たな一人芝居を創作します。  
●原作=重松清『ナイフ』(新潮文庫刊「ナイフ」所収)●脚本・演出=山田佳奈(口字ク)●フィジカルコーチ:大石めぐみ●出演=近藤芳正●会場=PLATアートスペース●料金=[全席指定]一般4,000円ほか

### 6/27 [土] 13:00 開演・28 [日] 13:00 開演 未練の幽霊と怪物ー『挫波』『敦賀』ー

好評発売中

現代演劇の旗手として、国際的に活躍するチェルフィッチュ主宰・劇作家・演出家の岡田利規。能の構造を用いてザハハ・バディ、もんじゅをモチーフに立ち上げる音楽劇です。  
●作・演出=岡田利規●音楽監督・演奏:内橋和久  
●出演=森山未来、片桐はいり、栗原類、石橋静河、太田信吾 / 七尾旅人(謡子)●会場=PLAT主ホール●料金=[全席指定]S席5,500円、A席3,500円ほか

### 7/11 [土] 14:00 開演 イクウメ『外の道』

好評発売中

紀伊国屋演劇賞受賞など、現代日本演劇を牽引する劇作家・演出家の前川知大が主宰・作・演出を務める、劇団イクウメ。超常的な世界観で、日常生活の裏側にある世界から人間の心理を描いていきます。  
●作・演出=前川知大●出演=浜田信也、安井順平 / 池谷のぶえほか●会場=PLAT主ホール●料金=[全席指定]S席5,500円、A席4,500円ほか

### 7/18 [土] 11:00 開演 / 14:00 開演 プラット親子わくわくプログラム2020 こどもからおとなまで楽しめるコンサート

好評発売中

鈴木智子『クラシカルクロスオーバーの世界』  
0歳から大人までが楽しめる。クラシックの名曲からジャズ、ラテンまで、ジャンルの枠を超えたピアノコンサート。出演は、プラットワンコインコンサート出身者で、豊橋在住のピアニスト鈴木智子。ギタリストのゲストも迎え、珍しいアンサンブルでも演奏します。11:00は0歳児から大人まで、14:00からは小学生から大人が楽しめるプログラムです。  
●出演=鈴木智子(ピアノ)、待井裕太(ギター)●会場=PLATアートスペース●料金=[全席自由・日時指定・整理番号付]大人1,500円、こども(4歳~高校生)500円、0~3歳:無料(保護者ひざ上に限る)ほか



PLAT小劇場シリーズ  
近藤芳正 Solo Work『ナイフ』

### 8/26 [水] 13:00 開演・27 [木] 13:00 開演 プラット親子わくわくプログラム2020 『二分間の冒険』

8月26日 13:00のみ

こどもたちに人気のファンタジー小説『二分間の冒険』がおしばいになります。気鋭の作家・演出家である山本卓卓がつむぐ言葉や世界と人気イラストレーター・ひらのりょうが描くアニメーションで主人公の少年・悟の冒険が、どんな舞台になるのかお楽しみください。  
●会員先行=5月23日(土)●一般発売=6月13日(土)●原作=岡田淳(偕成社刊)●上演台本・演出=山本卓卓●アニメーション=ひらのりょう●音楽=加藤訓子●出演=百瀬朔、佐野瑞稀、青山勝ほか●声の出演=犬山イヌコ●会場=PLATアートスペース●料金=[全席自由・日時指定・整理番号付]大人3,000円、こども(4歳~高校生以下)500円ほか【特別協賛:サーラグループ】

### 9/10 [木] 18:30 開演 9/11 [金] 13:00 開演 9/12 [土] 13:00 開演 9/13 [日] 13:00 開演

9月12日 13:00のみ

NORA 人形の家(仮題)  
現代の世界演劇のトップを走る演出家、ベルリン・シヤクビューネ劇場の芸術監督トーマス・オスターマイヤーが、イブセンの名作を新たな解釈で現代社会で苦悩する夫婦のドラマとして新演出する話題作です。  
●会員先行=6月上旬予定●一般発売=6月下旬予定●作=H.イブセン●翻訳=萩原健●修辞=瀬戸山美咲●演出=トーマス・オスターマイヤー●会場=PLAT主ホール●料金=[全席指定]料金未定

### 10/6 [火] 19:00 開演 井垣壮太&ミカエル・イエニングス ピアノコンサート

プラットワンコインコンサートで注目を集めた、豊橋出身のピアニスト井垣壮太と、彼がバツハコングルで出会ったイタリヤ人ピアニストとのジョイントコンサート。  
●会員先行=5月30日(土)●一般発売=6月13日(土)●出演=井垣壮太、ミカエル・イエニングス●会場=PLATアートスペース●料金=[全席指定]一般3,000円ほか

### 若手音楽家育成事業 プラットワンコインコンサート2020 好評発売中

「若手音楽家に活躍の場を、お客様にはより音楽を楽しめる機会を提供する」と企画されたPLATオリジナルのワンコインコンサートです。500円で贅沢なひとときをお過ごしください。  
●会場=PLATアートスペース  
●料金=[全席自由・整理番号付]500円  
5/12 [火] 19:00 開演  
『フランスの風に乗せて』  
Lis[リス]波多野千夏(ソプラノ)、寛悠里(ヴァイオリン)、植田結衣(ピアノ)  
7/24 [金・祝] 11:30 開演  
『二台ピアノで奏でるコンチェルト』  
白井那奈(ピアノ)・高柳満理奈(ピアノ)  
8/21 [金] 11:30 開演  
『フルートで巻き起こす夏の風〜心躍るリズムに乗せて〜』  
Trio Esters[トリオ・エステル]満吉香苗(フルート)、岡田薫子(フルート)、鈴木風香(フルート)

### 古典遊学 文楽学び塾〜まずは歴史を学ぶことから始めよう!〜

8/16 [日] 13:00 ~ 16:00  
●講師=吉田勘彌(人形遣い)、竹本碩太夫(義太夫)、鶴澤清充(三味線)●会場=PLAT創造活動室A●参加費=一般:2,000円、高校生以下:500円●募集人数=50名(先着順)●申込方法=①申込書に必要事項を記入の上、窓口持参かFAX(0532-55-8192)、②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み。6月より申込受付開始予定。

### News 新国立劇場との連携・協力に関する 協定を締結しました。

(公財)豊橋文化振興財団と(公財)新国立劇場運営財団は、それぞれが運営する穂の国とよはし芸術劇場と新国立劇場との連携・協力の推進にあたり、令和2年2月14日に協定を締結いたしました。







KAKUTA presents Monkey Biz #1『往転』(2020年2月・3月・本多劇場)より 写真:相川博昭

「まっすぐ歩いているつもりが、いつの間に曲がっちゃったのかしらね」

これは先月まで私が東京で上演していた『往転』という舞台で、ある登場人物が発する台詞です。

「往転」と書いて「おうてん」と読むこの舞台は、新宿から福島・仙台間を走る長距離夜行バスの横転事故からスタートします。運転手を含め、たまたま同じバスに乗り合わせた7名の男女。彼らの事故以前、事故当日、そして事故後の人生を綴る物語です。

なぜバス事故が起こったか。生き残ったのは誰か。そうしたミステリーもはらんで展開しますが、本筋はその事件性をたどることではなく、彼／彼女らが人生に抱えている「つまずき」にあります。彼らはバスに乗る以前から、人生につまづいていました。それは横領疑惑から逃げていたIT会社の社長であったり、東京へ行った息子のもとに金を無心に通う母親だったり、人生を変えたくて行きずりの男と婚約した風俗嬢だったり、誕生日にリストラに遭い、かつての不倫相手となりゆきで逃避行する男だったり……。ことの大小はさまざまですが、社会的な目線から言えば、どれも「よろしくないこと」であり、「ダメなひと」といわれる人たちかもしれません。ですが、誰でもどんな人でも、過去や現在に他人にはうまく言葉で説明できないならかの「つまずき」を抱えているものじゃないでしょうか。

この作品が最初に上演されたのは2011年の秋。説明するまでもなく、東日本大震災が起きて約半年後のことでした。脚本を執筆したのは1月だったので、震災の影響を受けて書いたものではありません。が、当時はこのストーリーが描く横転事故という出来事に、たまたま福島と仙台が出てくることもあって、震災、あるいは原発事故を想起した方は多かったようです。

「つまずき」という言葉では片付けられないような大きな出来事が、たまたま同じ時期に生まれたこの作品に、皮肉にも別の解釈を拡げるかたちとなりました。

として再演された今年も、この作品は別の大き

## 「語り合える友がいれば」

芸術文化アドバイザー  
桑原裕子

な出来事と重なりました。そう、渦中の大問題、新型コロナウイルスです。

この舞台を上演していた2月の終わり、政府からイベント関連の開催に関する自粛要請が出されました。『往転』は結局最後まで中止することなく上演しましたが、周囲の演劇仲間の公演は次々に幕を閉じていきました。もちろん、幕が開ける前に中止の決断をした公演もたくさんあります。これを書いている今も事態は収束していません。演劇に限らず、音楽、スポーツ、すべての興行において、それがどれほど精神的にも経済的にも苦しい決断であるか……。SNSなどでその報告を目にするたび、苦しくやるせない想いに苛まれます。この自粛要請を巡って、世論は今大きく二分されています。

私たちの公演を見に来てくれた人たちからは「観に来られてよかった」「上演してくれてありがとう」という声もたくさんいただきました。しかし、興行を続ける決断した者に対して、またそれを支持する人たちに対して、世間の風当たりは決して優しいとは言えません。「無人でインターネット上映すれば良いじゃないか」という人もいますし、「演劇なんかなくても困らない」と、あまりに心ない言葉を投げつける人もいます。

「命とどちらが大事なんだ」と聞かれたら、誰もが「命です」というほかりません。それは間違いないのですが、「命か芸術か」という二極化で結論を迫るのは、想像力を止めてしまう危険な考え方だと私は思います。

命を大切にすることとは、心が豊かであることも含まれます。命を守るためだけを思えば、じつと家において誰とも接触しないのが一番ですが、とれては心が荒んでしまう。

もちろんそれで安心を得られる人もいるでしょうが、そうではない人のことも理解する、想像する力というものを、今とても試されている気がするのです。

現代においてはコロナ問題に限らず、常識からはみ出す者、自分には理解できない言動を起す者に対し、世論がそれを正義の名の元に攻撃する風潮が増していると感じています。

たとえば不倫問題、違法薬物使用。どれも良

いこととはいええないでしょう。でも、想像力をもう一歩前進させれば、もうすこし寄り添って考えることができるのに。

今回の『往転』という舞台は、そうした誰かの「つまずき」を、社会や常識の目でなく、あなたの目で見てください、という想いでつくりました。すると面白いことがありました。複数の男女が織りなす今作の物語で、最も観客から共感を呼び、愛情を持って受け入れられたのが、誕生日にリストラされた男と、母の散骨へ向かう女の不倫カップルの話だったのです。それはもちろん俳優の力があります。演じる峯村リエさんと入江雅人さんの二人が、痛みを抱えた愛すべき人物像を作り上げたからです。でも、これは私にとってひとつの励みとなりました。豊かな想像力は、誰かに寄り添い、誰かを救済優しさになるのだということ。「いつを転んでしまったら、これ以上間違った道へ進むことなく、留まれるのかもしれないわね」冒頭で紹介した登場人物は続けて、こんな台詞を言います。これは孤独を埋めるために息子に金を無心している母親が、自戒を込めてつぶやく台詞です。隣でその話を聞いているのは横領疑惑で逃げている男。たまたま同じバスに乗り合わせた二人は、慰め合うでもなく淡々と、これまでの過ちを振り返っています。

「留まれるんでしょうか」彼が今日知り合ったその母親に聞くと、彼女はこう答えます。

「語り合える友がいれば」

としてふたりは、安い言葉、と笑い合います。でも、本当にそれが今、大切なことだと感じます。他者を攻撃し、分断するのではなく、友のように対話すること。そうすることで、あともう一歩の想像力が生まれ、そこから理解や寛容、赦しが生まれるのではないのでしょうか。

もちろん想像力は良いことにだけ働くものではありません。不安や恐怖も想像でいくらでも膨らんでいきます。その強大さを感じる今だからこと、その力が良い方向へも向けられるということを忘れずにいきたいです。

そうすればもしかしたら、隣りにいる見知らぬ人が、語り合える友になるかもしれません。

## SUPPORT

知識製造業  
三遠機材株式会社  
http://www.san-en.co.jp

YOSHINO ASSOCIATES architects engineers  
吉野設計研究所  
http://www.440a.co.jp

有限会社 魚伊  
電話 52-5256

株式会社 竹尾建築設計事務所  
代表取締役 竹尾 誠  
豊橋事務所/豊橋市平川南町91-2 〒440-0035 Tel.0532-62-1331(代) Fax.0532-62-1332  
浜松事務所/浜松市東区流通元町13 〒435-0007 Tel.053-422-3628(代)

グロトリアンピアノ地域特約店  
白羽楽器 株式会社  
電話 053-464-3015

竹内産婦人科  
産婦人科 婦人科 (不妊治療)  
豊橋市新本町23 (豊橋 市内産婦人科) 053-464-3015

ケンチク 701  
KURONO ARCHITECT STUDIO  
y.qlo0170@gmail.com

うつ、統合失調症、精神遅滞、発達障害、脳梗塞、人工透析、人工関節など  
豊橋・豊川障害年金相談センター  
初回相談無料 ☎0120-891-498  
豊橋市花中町 160-9 障害年金専門社会保険労務士 竹下英司

看板広告 アラキスタジオ  
豊橋市上伝馬町16 電話52-5586番

本と文具なら  
精文館書店  
TEL.54-2345

ONOCOM なければつくる  
株式会社オノコム

外科・内科・胃腸科・麻酔科・肛門科  
医療法人栄真会 伊藤医院  
豊橋市小池町字原下35 電話45-5283 (代)

創業文政年間 数きく宗  
豊橋市新本町40 電話52-5473番

調理と製菓のおいしい資格。  
豊橋調理製菓専門学校  
豊橋市八町通一丁目22-2 TEL.53-2809

豊橋銀行協会 (順不同)  
三菱UFJ銀行 みずほ銀行 静岡銀行 名古屋銀行  
三井住友銀行 三井住友信託銀行 清水銀行 第三銀行  
十六銀行 愛知銀行 中京銀行 大垣共立銀行

創業江戸 御茶席菓子専門店  
若松園  
御菓子司

西村能舞台  
豊橋市上伝馬町 代表=西村雄三 Mail=nnbutai@gmail.com

気まぐれコンサート  
事務局/0532-62-9259 (小川恵司)

安心安全な地下駐車場  
パ-ク500  
プラット主ホール・アールスペース公演等へのお客様は30分150円を30分100円(上限4時間まで)に割引します。

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・麻酔科  
医療法人 塩之谷整形外科  
理事長 塩之谷 昌 院長 塩之谷 香 副院長 市川義明  
豊橋市植田町関取54 電話 0532-25-2115(代)

豊橋名産 傘あくわ

井上皮フ科クリニック  
診療時間 月・火・木・金 10:00~13:00 16:00~19:00  
土 10:00~14:00 休診日=水・日・祝  
電話 0532-55-7007 愛知県豊橋市向山町字中畑13-1マイルストーン1F

プラス・ワンの付加価値をお客様に提供いたします。  
共和印刷株式会社  
豊橋市小池町36番地の1 TEL46-3281 FAX46-3285

整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科  
医療法人 大岩整形外科・皮フ科  
院長 大岩俊久 豊橋市大橋通二丁目115 電話55-2100

伝統的工芸品豊橋筆  
書道用品専門店  
高誠堂  
豊橋市呉服町四拾四番地 電話52-5514

本 豊川堂  
本店・カルミア店・アビタ向山店・プリオ豊川店  
セントファール田原店・さしまグローバルゲート店

ISO9001 ISO14001 愛知ブランド企業 認証・認定取得  
株式会社 三光製作所  
三光精密工業株式会社  
豊橋市佐藤一丁目12番地の3

Storyteller tells the Story  
物語コーポレーション

生活にフィアंकオリティ  
sala

豊橋銀行協会 (順不同)  
三菱UFJ銀行 みずほ銀行 静岡銀行 名古屋銀行  
三井住友銀行 三井住友信託銀行 清水銀行 第三銀行  
十六銀行 愛知銀行 中京銀行 大垣共立銀行

広告募集

## TICKET CENTER

チケットの購入・お問合せ  
プラットチケットセンター

電話・窓口  
0532-39-3090 [休館日を除く10:00~19:00]  
オンライン  
http://toyohashi-at.jp [24時間受付・要事前登録]

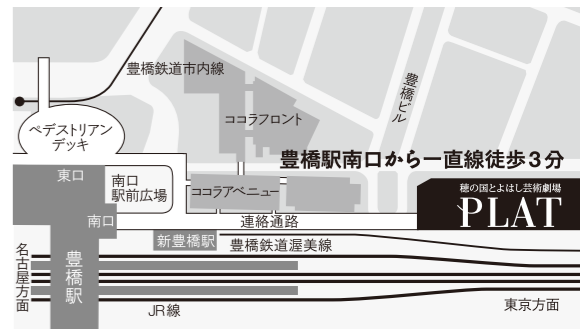


プラットフレンズ募集  
入会金・年会費無料

特典  
1 公演情報をメールでご案内します。  
2 インターネットでチケット予約ができます。  
3 主催公演のチケットを一般発売に先がけてご予約できます。  
※劇場窓口またはホームページから登録いただけます。

U25・高校生以下割引ご案内

ほぼすべての財団主催公演に、若い人にお得な料金を設定しています。  
料金  
U25[25歳以下対象]:公演ごとに指定する席種の半額  
高校生以下:一律1,000円  
購入方法  
各公演の一般発売初日から窓口にて取扱い。  
その他  
本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。  
座席の指定はできません。要・入場時身分証明書提示。



〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地  
電話=0532-39-8810[代表]  
開館=9:00~22:00 休館日=第三月曜・年末・年始。  
第三月曜が祝日の場合はその翌平日。  
豊橋駅(JR東海道新幹線、東海道本線、名古屋鉄道)、  
新豊橋駅(豊橋鉄道渥美線)直結。豊橋駅南口から徒歩3分。  
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用いただくか、  
お近くの公共駐車場等をご利用ください。

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT